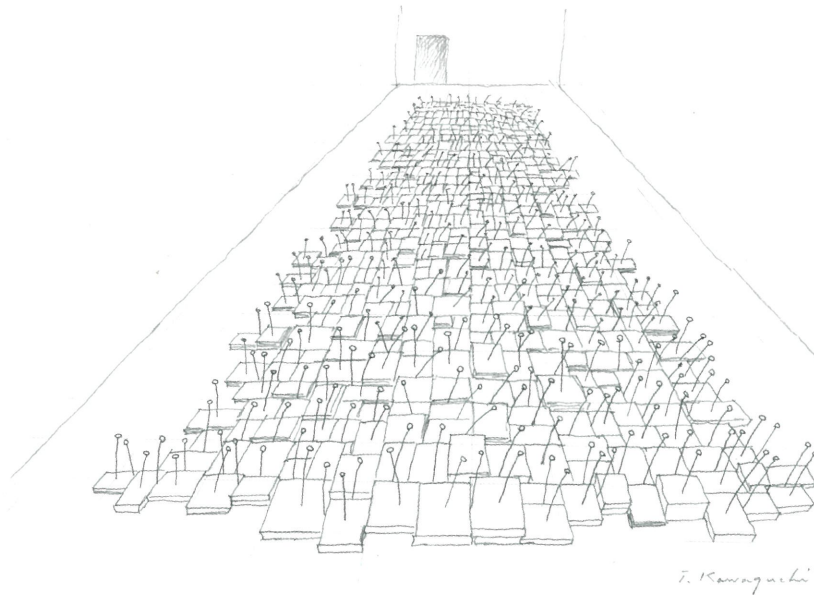


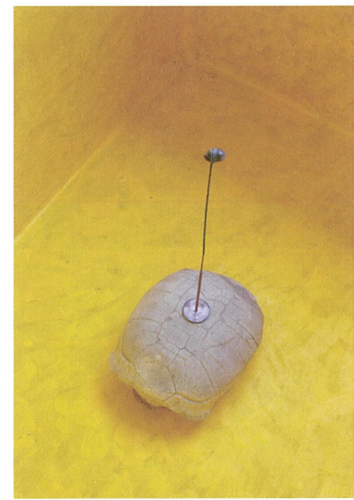
河口龍夫 —ちのこうや—

2018年9月15日(土) — 12月16日(日)

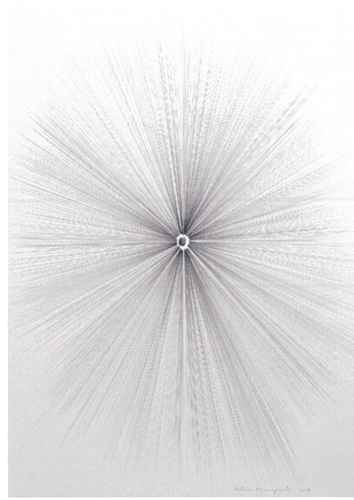


知の広野
《知の荒野 ドローイング》2015年、紙、鉛筆
2015 11. 28

日本を代表する芸術家である河口龍夫は、独自の哲学を背景に、物質への関心を根底に持ちながら、関係、闇、時間等、目に見えないものや不確かなものを可視化した数々の作品を制作してきました。その作品は、深い精神を備え、見るものに大きな創造力を与えます。本展では本や新聞等を用い、情報、知性、叡智等について思考してきた一連の作品群の新作として、情報過多な社会の中で人々がどのようにあるべきかという問題意識を起点に、様々な情報を内包する広大な黒部近郊の自然や大地に重ね、作品と地域の環境が互いに呼応し合うような展示をいたします。



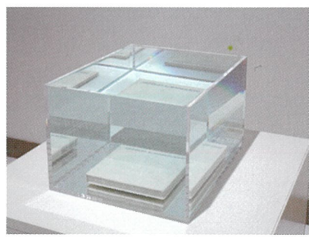
1



2



3

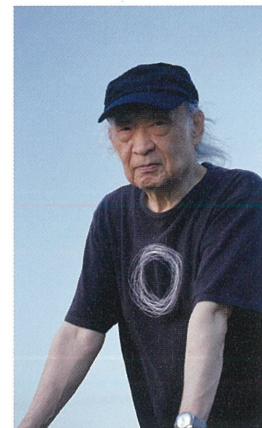


4



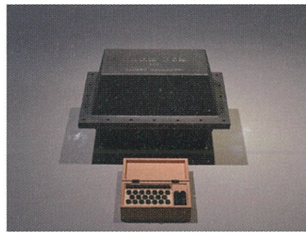
6

TATSUO KAWAGUCHI



撮影:齋藤さだむ

河口龍夫 Kawaguchi Tatsu 1940年 神戸市生まれ
1965年にグループ「位」の活動で注目を集めて以降、1970年「第10回 日本国際美術展 人間と物質」、1989年「大地の魔術師たち展」他、数々の展覧会に出品。兵庫県立美術館、名古屋市美術館、東京国立近代美術館等国内でも大規模な個展が開催されており、国際芸術祭、美術館でのグループ展、様々な場所で継続的に発表を行い、意欲的な制作活動を続けている。一方で、1983年より筑波大学をはじめ倉敷芸術科学大学、京都造形芸術大学、金沢美術工芸大学等で後進の育成にあたってきた。



5

1. 《亀の時間》2018年、亀の化石(第三紀・約300万年~7000万年前)、銅線、銅パイプ、種子(蓮)、木箱、蜜蝋、硫化カドミウム 撮影:齋藤さだむ 2. 《関係-異文時代1》2018年、鉛、鉛筆、厚紙、圧痕レプリカ(ダイズ原子案) 撮影:齋藤さだむ 3. 《時のフロッタージュ》2018年、和紙、鉛筆、蜜蝋、天然黄土、厚紙、ジュラ紀の種子(ソテツ) 撮影:齋藤さだむ 4. 《水に潜る作品集》2010年、本(作品集)、蜜蝋、透明な水櫃、水、うらわ美術館展示風景(「これはほんではない」2010-11年) 画像提供:うらわ美術館 撮影:上野則宏 5. 《DARK BOX 2017》2017年、鉄、鋼、金津創作の森展示風景(「観望しの彼方」2017年) 画像提供:金津創作の森 撮影:池田ひらく 6. 《関係-化石からの再生》2017年、1億9千万年前の化石(ジュラ紀)、銅線、銅パイプ、蜜蝋、種子(蓮) 撮影:齋藤さだむ

オープニングセレモニー&アーティストトーク

2018年9月15日(土) 15:00~15:45頃

○観覧会観覧券が必要です。 ○どなたでもご参加いただけます。
○終了後、併せて下記吉田科学館でのイベントにご参加くださいませ。

闇の封印—プラネタリウムで感じる闇と光の世界—

河口龍夫作品《DARK BOX 2018》制作に立会うイベントです。真っ暗な闇の世界で闇の封印作業を体験後、プラネタリウムで光の世界と出会います。闇と光の世界で、普段とは違う感覚を研ぎ澄ませて見ませんか。

2018年9月15日(土) 17:00~19:00頃(開場16:45)

場所 | 黒部市吉田科学館プラネタリウム [黒部市吉田574-1]
料金 | 一般300円、高校・大学生150円 *中学生以下無料 *河口龍夫展の半券提示で無料
対象 | 小学校4年生以上(小学生は保護者同伴)
闇の封印...講師 | 河口龍夫(現代美術家)
プラネタリウム...講師 | 村井彰、中瀬公子(黒部市吉田科学館)

共催:黒部市吉田科学館

【闇の封印について】
参加者の内18人に闇を封印する作業をしていただきます。暗闇の中でポルトを止めます。イベント開催中に作業の説明の上、希望者を募り、人数が多い場合はくじ引きで決定します。
●暗闇が苦手な方は参加をご遠慮くださいませ。
●会場内では携帯電話の電源をお切りいただけます。
●ゲーム機、デジタル時計等光る可能性のあるものはご持参をお控えください。

【送迎について*要予約】(9月14日(金)17:00締め切り)
以下の送迎につきまして、黒部市美術館へお申し込みください。
①黒部市美術館~吉田科学館 黒部市美術館での河口龍夫展オープニングセレモニー終了後にお送りいたします。 ②吉田科学館~黒部宇奈月温泉駅 闇の封印イベント終了後にお送りいたします。

アート&サイエンスツアー「知の広野」 要予約

展覧会鑑賞とともに、河口さんがリサーチした新川地区を各分野の専門家と巡ります。作品に取り込まれた広野を感じるジオツアーです。

2018年9月16日(日) 8:30~17:00頃 [コース] まいぶんKAN→黒部市美術館→黒部市内のフィールド→朝日町内のフィールド→まいぶんKAN

集合場所 | 朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN [朝日町不動堂214]
参加料 | 700円(各館入館料) 定員 | 18名
講師 | 河口龍夫(現代美術家)、久保貴志(朝日町教育委員会事務局学芸員・古生物学)
川端典子(まいぶんKAN学芸員・考古学)、尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員・芸術学)
持ち物 | 昼食、動きやすい服装(長ズボン、スニーカー)

共催:朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

見て!感じて!作品鑑賞ツアー 要予約

初心者向けのアート鑑賞講座。河口作品で使用される「水」をキーワードに「生地の清水」や「海底林」が沈むスポットなども巡ります。

2018年10月13日(土) 8:30~15:30頃 [コース] 中央公民館→黒部市美術館→水スポット巡り→昼食(ドライブインきんかい)→まいぶんKAN(不動堂遺跡)→発電所美術館展望台→中央公民館

集合場所 | 黒部市立中央公民館 [宇奈月町浦山2100-2]
参加料 | 2000円(各館入館料、昼食代) 定員 | 25名
講師 | 尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)
長谷川憲二(黒部市吉田科学館フィールドミュージアム担当)

共催:黒部市立中央公民館

サテライト展示 朝日町埋蔵文化財保存活用施設
まいぶんKAN

下記展覧会に河口龍夫作品が展示されます

ヒスイの里の玉つくり展
2018年9月15日(土)~9月30日(日)

侏羅の森展(仮称)
2018年10月6日(土)~12月16日(日)

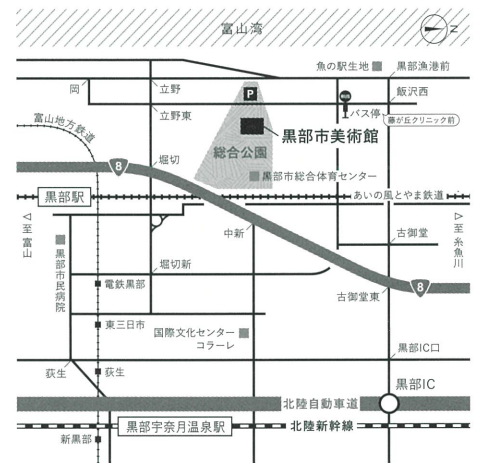
休館日 | 火曜日、10月1日~5日
開館時間 | 9:00~17:00(最終入館16:30)
観覧料 | 200円 *高校生以下無料

■お問合せ
まいぶんKAN(朝日町不動堂214)
TEL.0765-83-0118

ギャラリートーク

2018年10月6日(土)、
11月11日(日)、12月9日(日)

○展覧会観覧券が必要です。
○どなたでもご参加いただけます。



■電車でお越しの方
●あいの風とやま鉄道 黒部駅からタクシーで約7分 ●新幹線 黒部宇奈月温泉駅からタクシーで20分。新幹線黒部宇奈月温泉駅から富山地方鉄道「新黒部駅」に乗り換え「電鉄黒部駅」まで。「電鉄黒部駅」から地鉄バス「生地」行き乗車。「生地中區藤が丘クリニック前」下車、徒歩約10分

■自動車でお越しの方
●北陸自動車道 黒部I.Cより/I.C出口左折~飯沢西左折~黒部市美術館、車約15分 ●国道8号線(バイパス)富山方面より/堀切左折~立野東右折~黒部市美術館、車約1分

休館日 / 月曜日(但し9月17日・24日、10月8日は開館)
9月18日・19日、10月25日・26日、11月9日・10日

開館時間 / 午前9時30分~午後4時30分
(入館は午後4時まで)

観覧料 / 一般 500円(400円)
高校・大学生 400円(300円)
()内は、20名様以上の団体料金
*中学生以下無料
*障害者等手帳をお持ちの方と付添1名無料

黒部市美術館

〒938-0041 黒部市堀切1035 TEL・FAX 0765-52-5011

各ツアーのお申し込みはこちらまで